

エルサルバドル政治経済月報 (2023 年 3 月分)

2023 年 4 月
在エルサルバドル大使館

内政

1. 選挙法改正案の可決（報道：ディアリオ・エルサルバドル及びエル・ムンド）

3 月 15 日、当国国会は選挙法第 291-A 条（注：あらゆる選挙において、選挙を実施するために厳密に必要なものを除き、選挙期日の 1 年前から選挙プロセスの変更を禁ずる条項）の廃止を賛成多数で可決した。野党国会議員及び NGO 団体は、今回の選挙法 291-A 条の廃止が、これまでもカストロ国会議長が公言していた国会議員数及び地方自治体数の削減のみならず、選挙方式や党内予備選挙の期日変更、鞍替え出馬を許容することに繋がる可能性がある旨批判した。

2. 2024 年当国選挙に係る米国 NGO の見方（報道：エル・ムンド）

3 月 23 日、米国 NGO のワシントンラテンアメリカ事務所（WOLA）は、今月 15 日に当国国会が可決した選挙法第 291-A 条の廃止は、権力の集中を図る戦略として、地方自治体数の削減の可能性を高め、ブケレ大統領に対する支持率が低い地方自治体の力を制限し、エルサルバドル国全体が同大統領を支持しているとのイメージを与えるために、新思想党（NI）の支持率が高い別の自治体に合併させるものだとの見方を示した。

3. 選挙監視団の派遣に係る動き（報道：エル・ムンド）

最高選挙管理委員会（TSE）は、2024 年の当国選挙（注：大統領選及び国会議員選挙は 2 月 4 日、全国市長選及び中米議員選（Parlacen）は 3 月 3 日）に係る選挙監視団の派遣要請のプロセスを正式に開始した。

外交

1. 米国による対エルサルバドル支援（当地主要各紙）

米国国際開発庁（USAID）は、サンミゲル県オリエンテ大学民主主義研究センターと共に学生の民主主義的リーダーシップを推奨する目的で実施している「Oriente Lidera（東部主導の意）」プログラムの受講生 100 名の卒業式を実施。本プログラムは USAID が当国で取り組む「東部地域における市民社会と民主主義（Proyecto de Sociedad Civil y Democracia para la Región Oriental）」のコンポーネントであり、6 か月間続いた当該プログラムには 450 万ドルが投じられた。

2. 2023 年第 1 四半期の外交成果（新たな在外公館の開設）（報道：ディアリオ・エルサルバドル）

2023 年第 1 四半期において、ブケレ政権は 4 つの新たな大使館をアジア（シンガポール、ベトナム）及びヨーロッパ（ポルトガル、ノルウェー）に開設するとともに、3 つの領事館を米国（ソルトレイクシティ（ユタ州）、オハマ（ネブラスカ州）、ナッシュビル（テネシー州））に開設した。

3. アエム経済大臣と欧州委員会高官の会合（報道：ディアリオ・エルサルバドル）

3月20日、アエム経済大臣はドーエンス欧州委員会（EC）国際協力局事務局長、ルビナッチ EC 貿易総局次長と直近3年間におけるエルサルバドルのビジネス環境貿易円滑化、地域統合及び人材教育に係る協議を行った。また、同会合にはエルサルバドル側からはミラ外務副大臣が出席した。

経済

1. ルディエ当地 EU 大使による EU・エルサルバドル EPA に係る見解（報道：ラ・プレンサ・グラフィカ）

3月6日、当地ラジオ放送局「La Tribu」に出演したルディエ当地 EU 大使は、エルサルバドルは EU との FTA（ママ）を活用できておらず、当国は常に北（米国）に関心がある旨発言した。また同大使は EU が 27 の国から構成されており、EU との FTA（ママ）はエルサルバドルに利益をもたらす機会を多く有していると発言した。

2. トリウム・エナジー・アライアンスとの協力協定（報道：エル・ムンド）

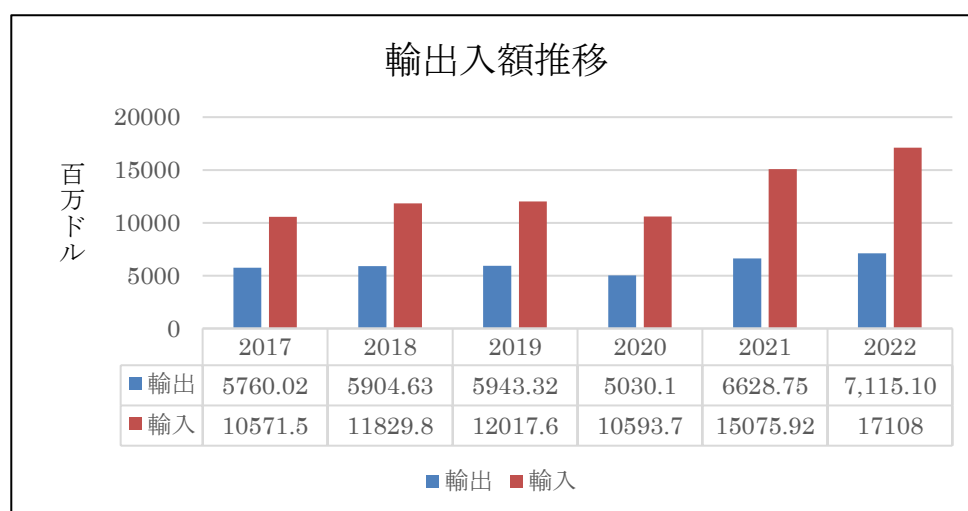
3月15日、アルバレス・エネルギー・炭化水素・鉱業局（DGEMH）局長は、トリウムを利用した発電を検討するために、米国に本部を億トリウム・エナジー・アライアンス（TEA）との協力協定を締結した。同協定は駐米エルサルバドル大使館でクッチ TEA 代表との間で結ばれ、マジョルガ駐米エルサルバドル大使が出席した。

3. 2022 年における当国の GDP 成長率の発表（報道：主要各紙）

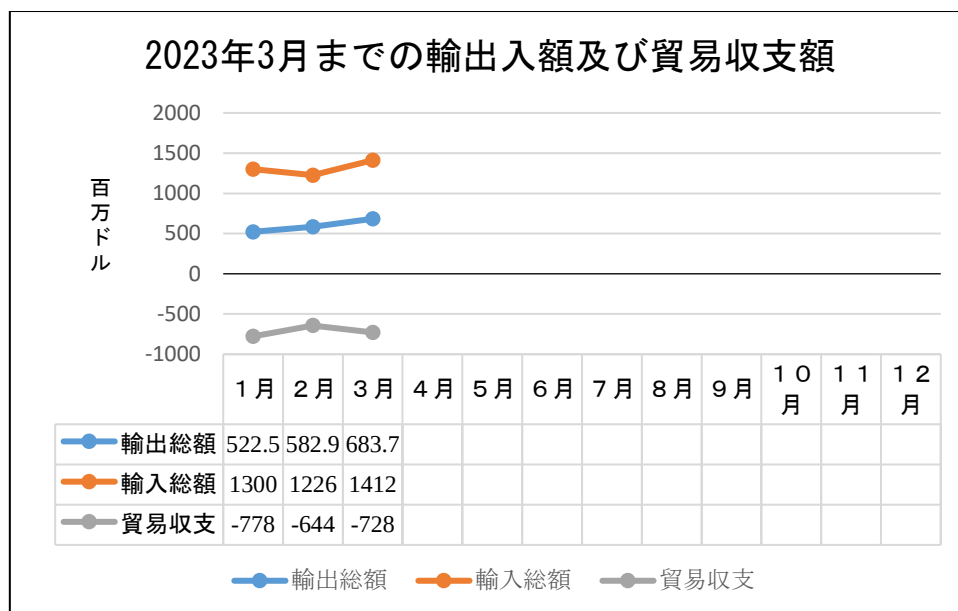
3月28日、エルサルバドル中央銀行（BCR）は 2022 年における当国の GDP 成長率が前年比プラス 2.6%を記録した旨発表した。また、同年第 4 四半期における GDP 成長率は前年同期比プラス 1.3%を記録した。

4. 貿易総額

・2022 年の輸出総額は 71 億 1,115 万ドル（前年比 7.3%増）。輸入総額は 171 億 80 万ドル（前年比 13.5%増）となった。



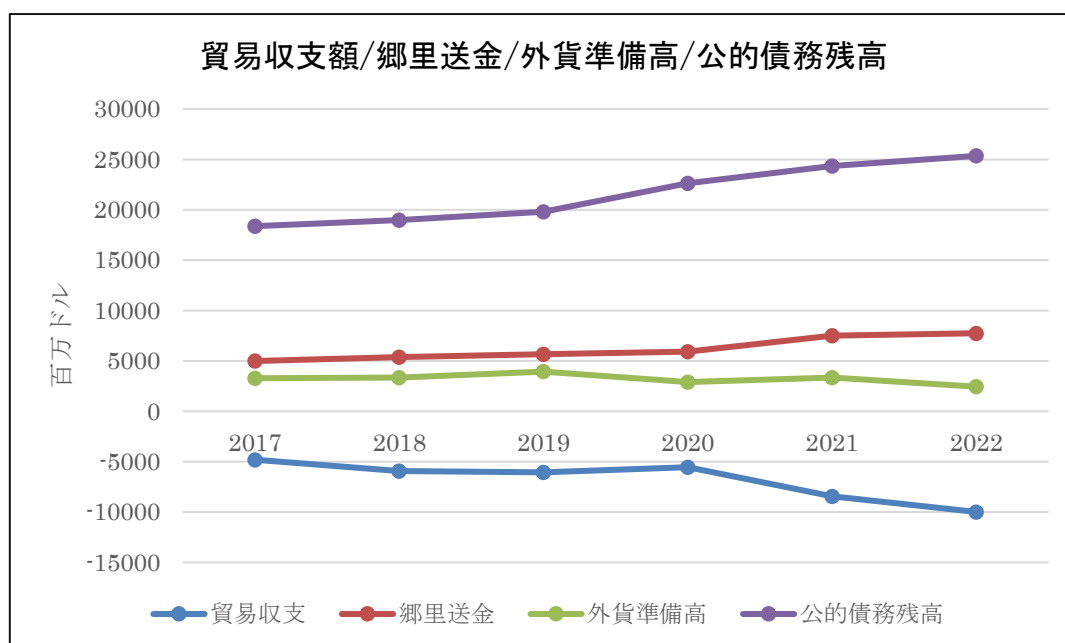
（エルサルバドル中銀データをもとに作成）



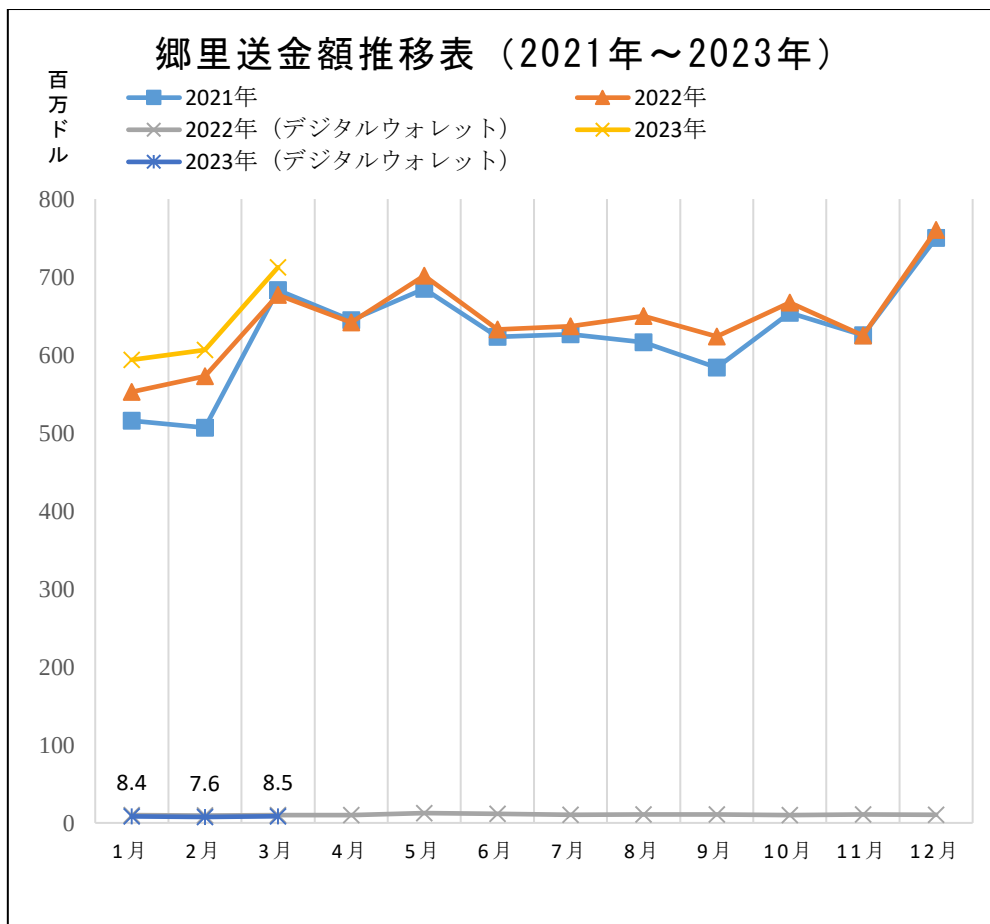
(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

5. 貿易収支額・郷里送金・外貨準備高・公的債務残高

- ・ 2022 年度の貿易収支額はマイナス 99 億 9,290 万ドルとなり、前年より赤字額が 17 億 7,040 万ドル拡大した。
- ・ 2022 年の郷里送金額は 77 億 4,200 万ドルとなった。そのうち米国からの送金は全体の 93.8% (72 億 6,570 万ドル) を占めた。なお、



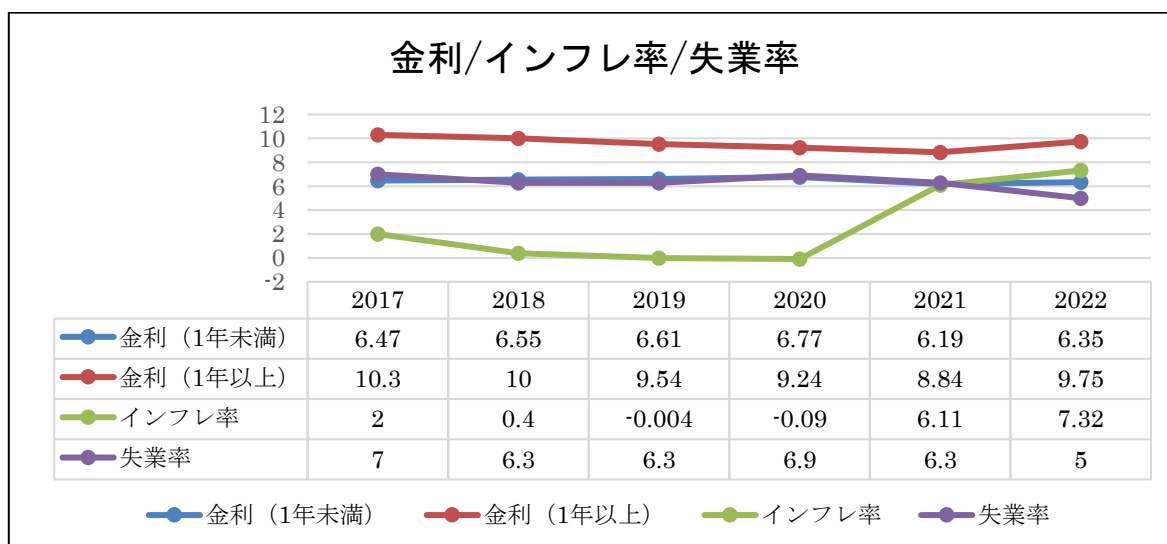
(エルサルバドル中銀データをもとに作成)



（エルサルバドル中銀データをもとに作成）

6. 金利・インフレ率

・2022年のインフレ率はプラス7.32%であった。また2021年のインフレ率はプラス6.11%であった。2022年の失業率は5.0%であった。



（エルサルバドル中銀データをもとに作成）